

24・J1

国 語

注 意 事 項

1. 「開始」の合図があるまで、問題を開いてはいけません。
2. 問題は 8 ページ、解答用紙が 1 枚あります。
3. テストの内容に関する質問は一切できません。
4. 気分が悪くなったとき、筆記用具を床に落としたときなどは、手を挙げて監督者に合図して下さい。
5. 「終了」の合図があったら、すぐに筆記用具を置いて、監督者の指示に従ってください。

受験番号	
------	--

一、
1、10のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。(送りがなも書くこと)

- 1 小さな花屋をけいえいする。
- 2 音楽家としてのそしつがある。
- 3 早起きのしゅうかんを身につける。
- 4 父は家をしんちくした。
- 5 ガラスのはへんが散らばる。
- 6 きれいなもようの洋服。
- 7 ごみを分別してすてる。
- 8 こきょうの友達がなつかしい。
- 9 非日常の体験をした。
- 10 備忘録に記入した。

二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

飲食店の食品ロスは主にお客さんの食べ残しによるものです。けれどもファーストフード店と宴会やパーティーが開かれる居酒屋やレストランなどを比較すると、食べ残し量に三〇倍もの差があり、^①後者のほうが圧倒的に多いのが特徴です。「飲食店」とひとくくりにできません。どうしても差が出るのでしょうか。宴会やパーティーでは、食べることに以上におしゃべりすることに夢中になってしまい、食べ残しが出てしまうからです。だったら盛り付けを少なくして、無駄を省けいいと思う人もいるでしょう。

まうのでなかなかそうできないのです。困った話です。また、お客さんの注文にすぐ応えられるようあらかじめ作り置きをしたり、調理作業を効率化するために前倒して準備したりするお店もありますが、その見込みが外れると多くの食品が余ることになり、結果捨てられてしまいます。

オーダーミスで間違ったものを作ってしまったり、髪の毛などが混入したり、味付けを間違うといった調理ミスなども食品ロスの原因^②となります。

これらからわかるのは、食品ロスが減らない理由は、消費者、^③「食べる人」のことを考えて、お店や工場があれこれ取り組んでいる結果だということです。

ところで、日本と海外をくらべると、食品ロスの発生のしかたに大きな違いがあります。その一つが「規格」です。日本の場合、前述した生産者団体だけでなく、卸売市場、小売店などでも規格が定められています。つまり、各段階で規格から外れたものがすべて食品ロスになってしまうのです。このようなことは海外では少なく、そのため「規格が厳しい日本へ輸出するのは大変だ」といわれています。

それだけではありません。「売り場の見栄えをよくしよう」とするために「絶対に欠品してはならない」という雰囲気そくが小売店側にもメーカー側にもあります。そのためメーカーは欠品しそうになると、赤字になっても別のところから買ってきて出荷する数を揃えたり、たった数個のためにトラックを一台チャーターして運んだりするなど涙ぐましい努力をします。そもそも、自社の倉庫に大量の在庫を準備しておいて、いつでも出荷できるようにしています。しかし^③そうした努力の裏で、売れ残ったり、期限が過ぎたりした商品は捨てられています。それが仕事上のルールになっているのです。

日本のお店をみに来る外国人はたいいてい「品揃えはパーフェクト！」と言いますが、食品ロスが出ていることを知ると^④「フードバンクはないのか？」と聞き返してきます。

「フードバンク」とは一言でいうと、余っている食べものを食べものを必要とする人のために寄付する活動です。しかし、^⑤日本ではまだまだ活動は一部の地域にとどまっており、アメリカの一〇〇分の一くらいの規模です（重量換算の場合）。日本では、寄付をした食品で食中毒が起らないかを

気にしたり、寄付することが社会的に評価されることが少なかったりして、活動がなかなか広がりません。一方、海外では、寄付をした食品で事故が起こつても責任を問わないとする法律がある国もあります。また、寄付した分を金額換算して収入から差し引いて、納める税金の負担を軽くする仕組みが整っていたりします。長引くコロナ禍で、日本でも農林水産省を中心にフードバンク支援緊急対策事業が行われるようになりました。そこには、「子ども食堂等への食品提供を行っているフードバンクの役割が重要になってきていることから、フードバンク活動を通じた食品ロス削減を図るために、フードバンクに対して、未利用食品の受入れ、提供を拡大する取組」(農林水産省HP)に必要な経費を^b支援することがうたわれています。

⑥ 先進国と開発途上国で、食品ロスの発生のかたは大きく異なります。先進国では、消費者が余裕のある生活をするために食べものが過剰に提供されていることが原因で食品ロスが発生しています。さらに特徴的なこととしてあげられるのは食品に見栄えや高い品質を求めるため、少しでも問題があると買わなかったり(結果として売れ残り食品ロスが生じる)、食べずに廃棄^{はいき}したりすることです。これはどの先進国の消費者にも共通してみられます。

一方、開発途上国では、消費者段階ではむしろ食品ロスが少ないのが特徴です。途上国の人たちは、食べものが足りない状態にあるためにそれを粗末^{まつ}にするようなことはしないからです。

こうした国で食べものが不足する理由は、単に買うお金が足りないだけでなく、安定的に生産する技術が乏しい^{とほ}、食べものを作っても運ぶ方法がないという根本的な問題があります。また効率的な農業をするには、人も技術も必要です。しかし現実には人々が協力する組織(足場)がないこともあり、技術開発も後れ、計画的に食料を作っていくことができません。そのため、豊作の時には保管できずに腐らせてしまうこともあります。その結果、食べものが皆にいき渡らない状態に陥^{おちい}ることがあります。じつさい栄養不足が深刻なインドでは、道路や設備が不十分なため果物や野菜の三〇%が廃棄されているといわれています。国際協力という名目で、多少のお金を援助するだけでは、根本的な解決にはなりません。

世界のすべての人が食べるのに十分な食料が生産されているにもかかわらず、地域によっては、食べるのにこと欠いている人がいます。国連WFPは、「二〇一九年には五ヶ国一億三三〇〇万人が急性食料不良に直面しました。さらに、三人に一人が何らかの栄養不良に苦しんでいるのが現状」と報告しました(WFP「飢餓をゼロに」)。しかも国連人口基金(UNFPA)によると、二〇二一年の世界の総人口は約七億八千万人、二〇五〇年には九億八千万人に達すると見込まれています。^⑦食料の問題は、これからますます大きくなっていくでしょう。しかし研究者のなかには、もし今の農業生産力で作られる食料を無駄なく^c適正に配分できれば、地球上の飢餓^{きが}問題は解消できるという人もいます。たとえば、食品ロスを出さずに^⑧公平に食料

を配分できれば、理論的にはギリギリで飢餓問題を回避できる可能性があるということです。

国連WFPでも「飢餓ゼロ」達成に向けた五つの方法」を掲げ、そのなかに「食料廃棄・ロスの削減」をいれています。

公平かつ適正に食べものを配分するということは、自国でできるだけ食料を生産して、ほかの国から輸入しすぎないということを意味します。ところで、日本に住む私たちが食べている食料のうち、日本で作られたものの割合（食料自給率といいます）はどれくらい知っていますか？生産額ベースでは六七％、エネルギー換算したカロリーベースではわずか三七％です（二〇二〇年度）。先進国のなかで、日本は食料自給率が著しく低い国といえます。

つまり、日本は X 国なのです。たくさん作っている国から輸入しているのであれば問題ないのでは、と思う人もいるかもしれませんが。そこはきちんと調べてみなくてはわかりません。もしかしたら、ほかの国の食べものを奪っている可能性もあれば、農地を荒らしている可能性もあります。

（小林富雄『食品ロスはなぜ減らないの？』 岩波書店）

問1 ــــــــــــــــ a・b・cの意味として最も適当なものをそれぞれ選り記号で答えなさい。

a 「見込み」

- ア 将来そうなるという確信をもった推測
- イ 過去に見たことをもとにして持つ理想
- ウ 過去から将来までに起こることの想像
- エ 将来こうなつてほしいという強い希望

b 「支援する」

- ア すすんで働きかける
- イ 広く行き渡らせる
- ウ 力を貸して助ける
- エ お金を集めて寄付する

c 「適正」

- ア すばやく間に合わせること
- イ 争いやもめごとがないこと
- ウ 常にみな同じであること
- エ ほどよく間違ひがないこと

問2 ————— ①「後者」とは何をさし示していますか。本文から抜き出して答えなさい。

問3 文中の空欄

ー

、

ロ

、

目

にあてはまる単語として最も適当なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア なぜなら イ さらに ウ つまり エ しかし

問4 ————— ②「原因」の対義語を本文から抜き出して答えなさい。また、次にあげる言葉の対義語を答えなさい。

- 1 苦手
- 2 地味
- 3 集合

問5 ————— ③「そうした努力」をするのは、製造・販売する側にどういう意識があるからですか。答えなさい。

問6 ————— ④「フードバンク」について、次の問いに答えなさい。

1 「フードバンク」とはどのようなものか、答えなさい。

2 ————— ⑤「日本ではまだまだ活動は一部の地域にとどまっております」とあるが、その理由を二点答えなさい。

問 7 ————— ⑥ 「先進国と開発途上国での食品ロスの発生のかたは大きく異なります」とありますが、「先進国」と「開発途上国」の食品ロスの原因をそれぞれ二点ずつ説明しなさい。

問 8 ————— ⑦ 「食料の問題は、これからますます大きくなってくる」のはなぜですか。答えなさい。

問 9 ————— ⑧ 「公平に食料を配分」するとは具体的にどのようなことにすることですか。答えなさい。

問 10 X に入る言葉として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア 食品ロスが先進国の中でもっとも多い
- イ 海外から食料を大量に輸入している
- ウ ほとんどの食料を自国で生産している
- エ 食品ロスによって食料自給率が高くなっている

問11

次のア～オについて本文の内容に合うものは○、合わないものは×を書きなさい。

ア 飲食店の食品ロスは、お店が注文を予測して作り置きをしたり、盛り付けを多くして見栄えを重視したりすることで起こる。
イ 日本と海外では食料品の「規格」が統一されておらず、海外の方が規格が厳しいため、日本は食料の輸入が多くなってしまう。
ウ コロナ禍以降、日本でもフードバンク活動を通じて食品ロス対策が進められているが、その活動規模はまだ十分ではない。
エ 開発途上国では元々足りない食べものを人々が粗末にするようなことはなく、消費者段階で食品ロスが発生することは少ない。
オ 少子高齢化の影響で世界の総人口は減少傾向にあるため、食料を公平に配分することで飢餓問題を回避できるといわれている。

問12

本文のはじめに「飲食店の食品ロスは主にお客さんの食べ残しによるものです」とありますが、「食べ残しをしない」以外で、食品ロスを出さないために、消費者としてできることは何ですか。あなたの考えを書きなさい。

【以上】

受験 番号		名前	
----------	--	----	--

一

1 けいえい	2 そしつ	3 しゅうかん	4 しんちく	5 はぐん
6 もよう	7 すてゐ	8 こぎよう	9 非日常	10 備忘

二

問 1	a	b	c									
問 2												
問 3	I	II	III									
問 4		1	2	3								
問 5												
問 6	1											
	2											
問 7	先進国											
	開発途上国											
問 8												
問 9												
問 10												
問 11	ア	イ	ウ	エ	オ							
問 12												

受験 番号		名前	
----------	--	----	--

一

1 経営	2 素質	3 習慣	4 新築	5 破片
6 模様	7 捨てる	8 故郷	9 ひにちじょう	10 びぼら

二

問1	a ア	b ウ	c エ	
問2	宴会やパーティーが開かれる居酒屋やレストラン			
問3	I エ	II イ	III ウ	
問4	結果	1 得意	2 派手	3 解散
問5	「売り場の見栄えをよくしよう」とするために「絶対に欠品してはならない」という意識。			
問6	1	余っている食べものを食べものを必要とする人のために寄付する活動。		
	2	寄付をした食品で食中毒が起こらないかを気にするため。		
		寄付することが社会的に評価されることが少ないため。		
問7	先進国	消費者が余裕のある生活をするために食べものが過剰に提供されていること。		
		食品に見栄えや高い品質を求めるため、少しでも問題があると買わなかったり、食べずに廃棄したりするため。		
	開発途上国	人々が協力する組織がないこともあり、技術開発も遅れ計画的に食料を作れないため。		
		食料を運んだり保管したりする道路や設備が不十分なため。		
問8	例	・世界の総人口が増え続け、食料が不足するから。 ・すべての人に食料を適正に分配する方法がないままに世界の総人口が増え続けることによって、ますます食料が行き渡らなくなるから。		
問9	自国でできるだけ食料を生産して、ほかの国から輸入しすぎないこと。			
問10	イ			
問11	ア ○	イ ×	ウ ○	エ ○
問12				
	買い物のときに、消費期限の早いものから選んで買う。			
	オ ×			

